

施策事業進捗状況確認表【第5章】

※評価：A：計画通り順調に進んでいる、B：計画にやや遅れが出ているが、進んでいる、
C：計画に大きく遅れが出ているが、進んでいる、D：未実施、全く進んでいない

基本方針	基本施策	施策	No.	「市の取組」	担当課	施策事業進捗状況調査							
						取組手法の分類		令和元年度・2年度上半期の取組状況	評価	今後の予定 継続、変更、終了	令和2年度下半期以降の取組予定	優先取組 事項または取組む 予定の事項	
						取組手法	その他の手法						
1. 温室効果ガス排出量の削減・エネルギー消費量の削減を進めます (西東京市地球温暖化対策実行計画・区域施策編)	1. 省エネルギーの推進 公共施設における省エネルギー性能に優れた機器の導入や省エネルギー行動の徹底、市民及び事業者への省エネルギー行動やクールチョイス等に関する情報の発信を推進します。	①省エネルギーに関する情報の発信	1	家庭でできる省エネルギーの方法等を発信します。	環境保全課	普及・啓発		環境フェスティバルや講演会等のイベント時に、夏冬の省エネに関するリーフレットを配布し、ホームページを通じて「打ち水」など家庭でできる夏の省エネルギーの方法等を発信した。	A	継続	引き続き、冬の省エネに関するリーフレットの配布や、ホームページ等を通じた家庭でできる省エネルギーに関する最新情報の発信を行う。		
			2	事業所における省エネルギー活動の実施を啓発します。	環境保全課	普及・啓発		令和元年度は商工会の会合において、エコクリップ補助事業の案内を行い、出席者に地球温暖化対策の必要性やそのための省エネルギー活動の実施を啓発した。	A	継続	引き続き、商工会などを通じて事業所の省エネ活動実施を啓発し、事業所のインセンティブとなる国や都の補助事業を周知する。		
			3	クールチョイス運動を普及啓発します。	環境保全課	普及・啓発		令和2年8月に市長がクールチョイス宣言を行い、全職員にクールチョイスへの賛同登録を求めると、全市をあげてクールチョイスの普及啓発運動を行う体制づくりを行った。	A	継続	市報やホームページを通じた普及啓発の他、イベント等でクールチョイスに関するパネル展示や動画上映などを行い、参加者にクールチョイスの賛同登録を促すなど、市民へのクールチョイス運動の普及啓発を進める。	◎	
		②省エネルギーに関する取組の促進	4	公共施設の新設、改修時において、省エネルギー機器の導入を進めます。		公共施設マネジメント課	普及・啓発		公共施設の新設、改修時において、省エネルギー機器等の導入を推進した。	A	継続	引き続き、公共施設の新設、改修時において、省エネルギー機器等の導入を推進する。	◎
						建築営繕課	整備事業		中原小学校建替工事において、トッランナー変圧器・LED照明器具を設置した。	A	継続	中原小学校建替工事において、倉庫にLED照明器具を設置する。	
						高齢者支援課	維持管理		各施設LED照明器具へ切替富士町福祉会館では屋外灯をLEDへ取替工事を実施	B	継続	安定器等の不具合により修繕が必要な照明器具をLEDへ取替えていく。	
						環境保全課	維持管理		エコプラザ西東京の洗面所の照明器具について、人感センサー付照明に交換し、点灯時間を必要最小限に削減した。	A	継続	エコプラザ西東京の照明器具を段階的に蛍光灯からLEDへ交換するなど、可能な限りにおいて省エネルギー機器の導入を積極的に進める。	◎
						交通課	維持管理		老朽化に伴う照明器具の取り換えの際にLEDの照明器具を導入した。	A	継続	今後も施設の新設及び設備改修等を行う際には、省エネ機器等の導入可能なものについては導入を検討する。	
						教育企画課	維持管理		学校の建替、改修において、LED照明などの省エネ機器の導入を進めた。	A	継続	引き続き、学校の建替、改修において、LED照明などの省エネ機器の導入を進める。	◎
						5	公共施設におけるエネルギー使用量の見える化を検討します。	環境保全課	仕組みづくり		従来のカーボンマネジメントシステムの他、環境省の開発したシステム(LAPSS)を導入し、市の公共施設のエネルギー使用量や温室効果ガス排出量をグラフ等で容易に見える化する仕組みを構築した。	A	継続
			6	家庭等のLED照明の導入・整備を促進し、温室効果ガス排出削減に努めます。	環境保全課	補助		令和元・2年度とも、家庭用LED照明器具購入・工事半額助成を実施した。令和元年度は家庭等の蛍光灯からLEDへの交換で杉の木換算約1,686本の削減を達成した。令和2年度も市民からの好評を得た結果、申請受付開始後1ヵ月程で予算上限に達し、受付を終了した。	A	継続	令和2年度の受付は終了したため、本年度の蛍光灯からLEDへの交換による杉の木換算の効果を検証し、令和3年度以降の助成制度の見直しを図る。	◎	
			7	家庭等の省エネルギー機器の設置を支援します。	環境保全課	普及・啓発		省エネ性能の高いエアコン・冷蔵庫・給湯器の買換え時にポイントを付与する東京都の「家庭のゼロエミッション行動推進事業(東京ゼロエミポイント)」を多くの市民が利用できるよう、市報やホームページ、庁舎でのチラシ配架などで周知した。	A	継続	引き続き、国や東京都による省エネ機器導入に対する補助制度等の動向に注視し、国や東京都の補助制度公表後速やかに市報やホームページ等を通じて市民に周知を行う。	◎	
		2. 再生可能エネルギーの導入推進 太陽光発電や太陽熱利用設備、小型風力発電の利用など、本市の特性に配慮した再生可能エネルギーの導入を推進します。	①再生可能エネルギーに関する情報の発信	8	市民や事業者に対して導入補助や導入による効果等に関する情報を提供します。	環境保全課	普及・啓発		東京都などが発行する再生可能エネルギー導入補助に関するチラシ・リーフレット等の啓発物をエコプラザ西東京や庁舎等の施設に配架し、市民や事業者に情報提供した。	A	継続	引き続き、東京都などの再生可能エネルギー導入補助に関する最新の啓発物を施設に配架する他、「とちょう電力プラン」などの東京都の再生可能エネルギー導入支援制度を市報やホームページ等で情報提供する。	
				9	再生可能エネルギー由来の二酸化炭素排出係数が低い電力の活用・情報発信を行います。	環境保全課	普及・啓発		東京都など5都県市が連携して実施している「再生可能エネルギーグループ購入促進事業(通称「みい電」)」をホームページやチラシの配布などで情報発信した。	A	継続	引き続き、「みい電」を始めとした有益で環境にやさしい再生可能エネルギー由来の電力の情報発信を行う。	
			②再生可能エネルギーに関する取組の促進	10	公共施設における太陽光発電や太陽熱利用設備等の再生可能エネルギー機器の導入等を進めます。	公共施設マネジメント課	普及・啓発		公共施設の新設、改修時において、再生可能エネルギー機器等の導入を推進した。	A	継続	引き続き、公共施設の新設、改修時において、再生可能エネルギー機器等の導入を推進する。	◎
		建築営繕課	整備事業				中原小学校建替工事において、太陽光発電設備11kWを設置した。	A	終了	なし			
	教育企画課	整備事業		学校の建替において、太陽光発電設備の導入を進めた。	A	継続	引き続き、学校の建替において、太陽光発電設備の導入を進める。	◎					
3. 低炭素社会の実現に向けたまちづくりの推進 普段のライフサイクルの中で、極力、二酸化炭素の排出量を少なくするとともに、エネルギーの使用量を控えるなど、低炭素社会を意識したまちづくりを推進します。	①地域での取組の推進	11	太陽光発電や雨水の循環利用、地上部や屋上・壁面の緑化、環境に配慮した環境共生住宅等の普及啓発を図ります。	環境保全課	普及・啓発		環境フェスティバルでゴーヤの苗を配布するなど、家庭でできる壁面緑化の普及啓発を行った。	B	継続	市報やホームページを通じ、市民や事業者に対し、太陽光発電や壁面緑化等を利用した環境共生住宅の普及啓発を行う。	◎		
		12	市内産農産物や国内産農産物の選択・利用を普及啓発し、食物の輸送に係るエネルギー消費の削減を図ります。	産業振興課	普及・啓発		めぐみちゃんメニュー事業として、地産地消の推進の取組を行った。	A	継続	地産地消推進の取組として、めぐみちゃんメニュー事業のなかで、市内産農産物販売会(めぐみちゃんマルシェ)を行う。			
		13	近隣自治体等と連携して地球温暖化対策を推進します。	環境保全課	仕組みづくり		東京都環境・公害事務連絡協議会の定例会やブロック会議等で、地球温暖化対策の推進について近隣自治体等と意見交換を行った。	B	継続	引き続き、近隣自治体の環境所管部門と連携し、広域的な地球温暖化対策について検討を進める。			
	②エネルギーの見える化の推進	14	エネルギーや二酸化炭素排出量見える化を検討します。	環境保全課	仕組みづくり		環境省が提供するシステム(LAPSS)を導入し、公共施設におけるエネルギーや二酸化炭素排出量見える化を実施した。	B	継続	引き続き、公共施設におけるエネルギーや二酸化炭素排出量見える化を推進する。また、市域におけるエネルギーや二酸化炭素排出量見える化を検討する。			
	③公共交通利用の促進	15	公共交通機関の充実、自転車の利用環境向上により、移動手段を自動車から公共交通機関や自転車へ転換することを促進します。	交通課	仕組みづくり		東京都環境局が促進している自転車シェアリングについて、メンバー登録するなどし、都や先進区市からの情報収集等に努めた。	A	継続	引き続き、公共交通機関や自転車の利用促進を図る取組について検討・実施していく。			
	④次世代自動車の普及促進	16	東京都環境局と連携し、次世代自動車であるゼロエミッション・ビークルの普及を促進します。	環境保全課	普及・啓発		ホームページにおいて、電気自動車等のゼロエミッション・ビークルの購入に対する東京都の補助事業の周知を行った。	A	継続	引き続き、東京都の補助事業などの情報が更新された際に、速やかにホームページ等で周知啓発を行う。			

基本方針	基本施策	施策	No.	「市の取組」	担当課	施策事業進捗状況調査					優先取組事項または取組む予定の事項							
						取組手法の分類		令和元年度・2年度上半期の取組状況	評価	今後の予定 継続、変更、 終了		令和2年度下半期以降の取組予定						
						取組手法	その他の手法											
4. 地域のみどりの保全・創出 二酸化炭素の吸収源となる樹林地や農地等のみどりの保全・創出を推進します。	①地域のみどりの保全・創出	17	産業振興課	維持管理		農業委員会との協力により農地の肥培管理を行った。	A	継続	農業委員会との協力により農地の肥培管理を行う。									
			みどり公園課	計画策定		平成31年1月に策定した「下保谷四丁目特別緑地保全地区保全活用方針」を踏まえ、保全活用に向けた実証実験、価値の評価を実施した。	A	継続	平成31年1月に策定した「下保谷四丁目特別緑地保全地区保全活用方針」を踏まえ、今後「下保谷四丁目特別緑地保全地区保全活用計画」を策定する。									
			道路管理課	維持管理		街路樹の管理を適切に行い、剪定の時期や方法などは、地域住民への配慮なども含めて慎重に実施した。	A	継続	街路樹については適切に管理する。									
			道路建設課	整備事業		令和元年度は該当工事がなかった。	D	継続	令和2年度は、市道1315号線の道路改良に合わせ街路樹を12本植樹する。今後も、緑の創出を行っていく。									
			みどり公園課	仕組みづくり		令和元年度実績 緑化指導39件 緑化面積 5,050㎡	A	継続	開発協議に基づき、緑化指導を行う。									
			都市計画課	普及・啓発		人にやさしいまちづくり条例に基づき、緑地等の整備を指導した。	A	継続	引き続き、人にやさしいまちづくり条例に基づき、緑地等の整備を指導していく。									
			5. 地球温暖化への適応 近年、日本各地で多発する異常気象がもたらす災害など、地球温暖化がもたらす被害の防止に努めます。	①地球温暖化への適応	20	下水道課	整備事業		令和2年度整備検討委託を実施	A	継続	引き続き検討を実施						
						環境保全課	普及・啓発		環境マネジメントシステムを実施し、職員に施設管理や日常業務における省エネルギーの取組やヒートアイランド対策の普及啓発を行った。	B	継続	引き続き、環境マネジメントシステムの実施を通じ職員への普及啓発を行うとともに、ホームページ等を通じて市民や事業者にも啓発を行う。						
					22	公共施設での屋上・壁面の緑化等に努めます。	総務課	整備事業		仮庁舎整備事業において、田無第二庁舎屋上に低木による屋上緑化を行った。また、田無第二庁舎東側壁に壁面緑化を実施した。	A	終了	田無第二庁舎の屋上緑化・壁面緑化の維持管理を行う。	◎				
							障害福祉課	維持管理		障害者総合福祉センターにおいては、4階テラスを屋上緑化している。	A	継続	障害者総合福祉センターにおいて、引き続き屋上緑化を維持する。					
							保育課	維持管理		各保育園において、緑のカーテンによる緑化を実施している。	B	継続	上半期は新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休園等で対応が難しい部分もあったが、今後も、保育の中で緑のカーテン等の緑化を行っていく。					
							児童青少年課	普及・啓発		児童館・学童クラブにてみどりのカーテンを設置した施設があった。	A	継続	児童館・学童クラブにてみどりのカーテンを設置する。					
							文化振興課	維持管理		コール田無屋上防水改修工事の際、改修前と同様に樹木の植え込みを実施した。	A	継続	引き続きコール田無屋上の樹木の管理維持を実施する。					
							スポーツ振興課	維持管理		市内スポーツ施設壁面にゴーヤ等によるグリーンカーテンを実施している。	A	継続	新たに設置可能な施設の検討を行う。					
							協働コミュニティ課	維持管理		〈消費者センター分館〉 3階屋外部分に植栽の維持管理をしている。	A	継続	適切な維持管理を継続する。					
							環境保全課	維持管理		エコプラザ西東京での屋上緑化、リュウキュウアサガオによる壁面緑化の維持管理を行った。	A	継続	引き続き、エコプラザ西東京での屋上・壁面緑化を維持し、更に充実させる。					
							教育企画課	維持管理		学校の建替において、屋上緑化を進めた。	A	継続	引き続き、学校の建替において、屋上緑化を進める。	◎				
							2. 自然環境、歴史的及び文化的環境資源の保全・創出・活用を進めます	6. みどりや水辺環境の保全・創出・活用	①みどりの保全・創出	23	樹林地の保全・創出のための取組を支援します。	みどり公園課	補助	保存樹林等補助制度 令和元年度 新規1件5本	A	継続	申請に基づき、保存樹林等補助制度を実施する。	
														保存樹林等補助制度 令和元年度 新規1件5本	A	継続	申請に基づき、保存樹林等補助制度を実施する。	
24	消滅のおそれのある樹林地の保全のための方策を検討します。	みどり公園課	補助	保存樹林等補助制度 令和元年度 新規1件5本	A	継続				申請に基づき、保存樹林等補助制度を実施する。								
				保存樹林等補助制度 令和元年度 新規1件5本	A	継続				申請に基づき、保存樹林等補助制度を実施する。								
25	道路の新規整備、改修等の際、街路樹等を取り入れ、適正な管理を行います。	道路管理課	維持管理	街路樹の管理を適切に行い、剪定の時期や方法などは、地域住民への配慮なども含めて慎重に実施した。	A	継続				街路樹については適切に管理する。								
				道路建設課	整備事業	令和元年度は該当工事がなかった。				D	継続	令和2年度は、市道1315号線の道路改良に合わせ街路樹を12本植樹する。今後も、緑の創出を行っていく。						
26	公共施設においては、敷地内の緑化、屋上緑化・壁面緑化等を推進します。	総務課	維持管理	田無庁舎及び田無第二庁舎正面玄関横の花壇への花の植え付けや、植物の植え付けを行い、緑化の推進を行っている。（花の植え付け及び管理は、市民ボランティア団体に協力していただいている。）また、令和2年度上半期には、外構工事において、田無第二庁舎北側に低木の植栽を実施した。保谷庁舎敷地内では、ロータリー部分の花壇への花の植え付けや、植物の植え付けを行い、緑化の推進を行っている。（花の植え付け及び管理は、市民ボランティア団体に協力していただいている。）また、両庁舎共に敷地内の古木、枯れ木等については、東京都の事業の苗木等の提供を受け、毎年補植等を実施している。	A	継続				田無庁舎及び田無第二庁舎正面玄関横の花壇への花の植え付けや、植物の植え付けについては、今後も継続的に実施して田無庁舎敷地における緑化推進に努める。保谷庁舎敷地においても同様に緑化推進に努める。なお、令和2年度に保谷庁舎において、公益財団法人による植栽樹木苗木寄贈による補植を実施する予定である。	◎							
				障害福祉課	維持管理	障害者総合支援センター、保谷障害者福祉センター、ひばりが丘分庁舎、東伏見1号・2号分庁舎においては、それぞれ敷地内に樹木を植えるなど緑化を行っている。				A	継続	各施設における樹木等について、引き続き維持管理する。						
				保育課	維持管理	各保育園において、緑のカーテンによる緑化を実施している。				B	継続	上半期は新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休園等で対応が難しい部分もあったが、今後も、保育の中で緑のカーテン等の緑化を行っていく。						
				児童青少年課	普及・啓発	各施設では敷地内の植物の育成やみどりのカーテンの設置をした。また、地域の方の協力を得て花の育成を実施した。				A	継続	各施設では敷地内の植物の育成やみどりのカーテンの設置をする。また、地域の方の協力を得て花の育成を実施する。						
				文化振興課	維持管理	コール田無屋上防水改修工事の際、改修前と同様に樹木の植え込みを実施した。	A	継続	引き続きコール田無屋上の樹木の管理維持を実施する。									
				スポーツ振興課	維持管理	市内スポーツ施設壁面にゴーヤ等によるグリーンカーテンを実施している。	A	継続	新たに設置可能な施設の検討を行う。									
				協働コミュニティ課	維持管理	〈消費者センター分館〉 3階屋外部分植栽及び敷地内建物外部分の草木花の維持管理を行った。	A	継続	適切な維持管理を継続する。									

基本方針	基本施策	施策	No.	「市の取組」	担当課	施策事業進捗状況調査						優先取組事項または取組む予定の事項
						取組手法の分類		令和元年度・2年度上半期の取組状況	評価	今後の予定 継続、変更、終了	令和2年度下半期以降の取組予定	
						取組手法	その他の手法					
					環境保全課	維持管理		エコプラザ西東京での屋上緑化、リュウキュウアサガオによる壁面緑化の維持管理を行った。	A	継続	引き続き、エコプラザ西東京での屋上・壁面緑化を維持し、更に充実させる。	
					交通課	維持管理		施設敷地内の既存樹木等の維持管理を行った。	A	継続	今後も、引き続き環境に配慮した維持管理を行う。	
					教育企画課	維持管理		学校の建替において、敷地内の緑化、屋上緑化を進めた。	A	継続	引き続き、学校の建替において、敷地内の緑化、屋上緑化を進める。	◎
		27	緑地や農地など自然環境が持つ多面的な機能をグリーンインフラとして活用します。	産業振興課	普及・啓発		農地の多面的な機能の一つである「防災機能」を周知するため、「畑の防災訓練」を毎年行っていたが、令和元年度は荒天のため中止した。	A	変更	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、代替案を検討中		
				みどり公園課	計画策定		平成31年1月に策定した「下保谷四丁目特別緑地保全地区保全活用方針」を踏まえ、保全活用に向けた実証実験、価値の評価を実施した。	A	継続	平成31年1月に策定した「下保谷四丁目特別緑地保全地区保全活用方針」を踏まえ、今後「下保谷四丁目特別緑地保全地区保全活用計画」を策定する。		
		28	生垣設置等の取組を支援します。	みどり公園課	補助		生垣設置造成補助 令和元年度 実績8件	A	継続	申請に基づき、生垣設置造成補助を実施する。		
		29	「西東京市人にやさしいまちづくり条例」に基づいた緑地の保全・創出の指導を行います。	みどり公園課	仕組みづくり		令和元年度実績 緑化指導39件 緑化面積 5,050㎡	A	継続	開発協議に基づき、緑化指導を行う。		
				都市計画課	普及・啓発		人にやさしいまちづくり条例に基づき、緑地等の整備を指導した。	A	継続	引き続き、人にやさしいまちづくり条例に基づき、緑地等の整備を指導していく。		
		30	市民や事業者とともにみどりの保全を進めるための機会を設けます。	みどり公園課	市民活動支援		公園配置計画に基づき、花いっぱい運動、公園管理協力会員制度など市民参加による公園づくりや公園の管理を推進している。	A	継続	引き続き公園配置計画に基づき、公園づくりや公園の管理を推進していく。		
		②公園・緑地の活用		児童青少年課	普及・啓発		児童館にて地域の方のご指導により花壇での花の育成を行った施設があった。	A	継続	児童館にて地域の方のご指導により花壇での花の育成を行う。		
			31 公園等の公共用地にある花壇の計画・植え付け・管理等の市民の活動を推進します。	みどり公園課	市民活動支援		公園配置計画に基づき、花いっぱい運動、公園管理協力会員制度など市民参加による公園づくりや公園の管理を推進している。	A	継続	引き続き公園配置計画に基づき、公園づくりや公園の管理を推進していく。		
				環境保全課	市民活動支援		エコプラザ西東京にある花壇等の管理を、協力団体と協働して行った。	A	継続	引き続き、エコプラザ西東京にある花壇等の管理を協力団体と協働して行う。		
		32	市民との協働による公園や緑地等の維持・管理を行うため、人材育成を進めます。	みどり公園課	その他	共催謝金	令和元年度にコミュニティガーデナー養成講座を全6回開催し、人材育成を進めた。	A	継続	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年度は中止		
		③農地の保全		産業振興課	補助		西東京市安全安心農業推進事業補助金交付要綱に基づき、堆肥・有機質肥料・フェロモン剤の購入の補助を行った。	A	継続	令和2年度より、マルチシート（生分解性と環境安全性が保障されているグリーンプラマークを取得しているマルチフィルム）も対象とした。		
		34	持続可能な農業経営に向けた取組を進めます。	産業振興課	補助		令和元年度は都市農業活性化支援事業費補助金、令和2年度は都市農地保全支援プロジェクト補助金を活用して、農業経営の充実を図った。	A	継続	引き続き、都市農地保全支援プロジェクト補助金を活用する。		
		35	市民が農業とふれあい、都市農業への理解を深めるための機会を提供します。	産業振興課	普及・啓発		農のアカデミー体験実習農園を利用し、市内小学校・幼稚園の児童・園児に農業体験を行った。また、親子で野菜づくりにチャレンジでは、延べ79人の方が農業体験を行った。（令和元年度）	A	継続	農のアカデミー体験実習農園を利用し、市内小学校・幼稚園の児童・園児に農業体験を行う。		
		④水辺環境の保全・創出	36 河川周辺のごみのポイ捨て防止に関する普及啓発や美化活動を支援します。	ごみ減量推進課	普及・啓発		個別のポイ捨ての連絡に対し、市が管理している場所については処理をしている。	A	継続	個別のポイ捨ての連絡に対し、市が管理している場所については処理をしていく。		
		⑤水循環の確保	37 家庭での雨水の地下浸透量を増加させるための取組を支援します。	下水道課	補助		4月から12月の期間、西東京市雨水浸透施設等助成事業実施要綱に基づき雨水浸透施設等助成事業を実施した。	A	継続	12月までの間、西東京市雨水浸透施設等助成事業実施要綱に基づき雨水浸透施設等助成事業を実施する。		
			38 道路や公共施設において、地下浸透を増加させるための取組を進めます。	道路建設課	整備事業		私道整備事業においては、令和元年度は156㎡、令和2年度上半期には502㎡の透水性舗装を実施した。	A	継続	令和2年度下半期では115㎡の透水性舗装を予定しており、今後も状況により透水性舗装を採用していく。		
				教育企画課	整備事業		学校の建替において、雨水浸透設備の設置を進めた。	A	継続	引き続き、学校の建替において、雨水浸透設備の設置を進める。	◎	
		39 農地や緑地の保全を通じて雨水の地下浸透の維持に努めます。	産業振興課	普及・啓発			植木農業の振興及び市民が「緑」にふれあうことができる機会を提供するため、市内農業の特徴である植木を活かしたイベント「緑のアカデミー」を実施した。	A	変更	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、代替案を検討中		
				みどり公園課	補助		公園ボランティアの育成や支援、樹林・樹木・生垣の保存の支援などにより身近なみどりの保存・活用に取り組んでいる。	A	継続	引き続き、公園ボランティアの育成や支援、樹林・樹木・生垣の保存の支援などにより身近なみどりの保存・活用に取り組んでいく。		
				総務課	維持管理		田無・保谷両庁舎地域の一部施設（田無庁舎、防災・保谷保健福祉総合センター）のトイレ排水について雨水利用を実施している。	A	継続	下半期以降もトイレにて適正に取り組む。	◎	
				高齢者支援課	維持管理		田無総合福祉センターにおいて、雨水を利用し、トイレと散水に使用した。	A	継続	田無総合福祉センターにおいて、引き続き雨水槽等の管理を行い、雨水を利用していく。		
			40 公共施設での雨水利用方法について検討します。	障害福祉課	維持管理		障害者総合支援センターにおいては、トイレの洗浄水等として活用している。	A	継続	障害者総合支援センターにおいて、引き続きトイレの洗浄水等として利用する。		
				環境保全課	維持管理		エコプラザ西東京において雨水タンクに雨水を貯め、打ち水や植物への水遣り等に有効利用した。	A	継続	引き続き、雨水タンクに貯まった雨水を打ち水等で有効利用し、その他の利用方法についても検討する。		
				教育企画課	維持管理		一部の学校において、雨水をトイレの洗浄水等に利用している。	A	継続	引き続き、雨水をトイレの洗浄水等に利用する。	◎	
		⑥みどりや水辺とのふれあいの確保	41 歩いて楽しめる魅力ある空間づくりを進めます。	みどり公園課	その他	イベント共催	みどりの散策路巡り 令和元年度実績 3回	A	継続	令和2年度中止 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため。		
		42 市民がみどりに親しむ機会の提供を検討します。	みどり公園課	普及・啓発			特別緑地保全地区イベント（紅葉観賞会） 令和元年度実績 1回	A	継続	令和2年度 12月5日 紅葉観賞会実施予定		

基本方針	基本施策	施策	No.	「市の取組」	担当課	施策事業進捗状況調査						
						取組手法の分類		令和元年度・2年度上半期の取組状況	評価	今後の予定 継続、変更、 終了	令和2年度下半期以降の取組予定	優先取組 事項または取組む 予定の事項
						取組手法	その他の手法					
7. 生物多様性の保全・活用	①生物多様性の現状把握	市内の生物多様性の現状を把握するための調査について検討します。	43	環境保全課	その他	調査	市内におけるハクビシン・アライグマの目撃情報を市民から募集し、町目ごとの生息数を集計し、ホームページ等で公表した。	A	継続	引き続き、ハクビシン・アライグマの生息数を集計・公表する。		
			②生物多様性の保全・活用	44	みどり公園課	維持管理	平成27年3月に策定した「西原自然公園植生管理計画」に基づき、市民団体との協働により、西原自然公園で萌芽更新などの植生管理を実施している。	A	継続	引き続き、平成27年3月に策定した「西原自然公園植生管理計画」に基づき、市民団体との協働により、西原自然公園で萌芽更新などの植生管理を実施していく。		
				45	道路管理課	仕組みづくり	東京都苗木生産供給事業を活用し、市の木、市の花を積極的に植樹した。	A	継続	引き続き東京都苗木生産供給事業を活用していく。		
					道路建設課	整備事業	令和元年度は該当工事がなかった。	D	継続	街路樹を新たに設ける際は、武蔵野在来の樹種（郷土樹種）の活用等を検討する。		
				46	みどり公園課	補助	公園ボランティアの育成や支援、樹林・樹木・生垣の保存の支援などにより身近なみどりの保存・活用に取り組んでいる。	A	継続	引き続き、公園ボランティアの育成や支援、樹林・樹木・生垣の保存の支援などにより身近なみどりの保存・活用に取り組んでいく。		
	③生物多様性に関する情報の発信	47	環境保全課	普及・啓発	市内の全小中学校4年生に配布した「西東京市の環境」において、生物多様性についての紹介を行った。	B	継続	生物多様性についてホームページ等で啓発を行うとともに、生物多様性に関する環境講座の実施を検討する。	◎			
			④外来種対策の推進	48	環境保全課	普及・啓発	ヒアリ、セアカゴケグモ、オオキンケイギクなどの外来の昆虫や植物の特徴等について、ホームページ等で周知を行った。	A	継続	引き続き、外来種に関する最新情報をホームページ等で周知を行う。		
				49	環境保全課	その他	防除	市民からの依頼に基づき、ハクビシン・アライグマを令和元年度は18頭、令和2年度上半期は13頭駆除した。	A	継続	引き続き、ハクビシン・アライグマを始めとする外来生物の防除に取り組む。	◎
	8. 歴史的・文化的環境資源の保全・活用	①歴史的・文化的環境資源の保全	市内に残されている社寺や遺跡等の文化財について、次の世代に伝えるために保存するとともに、地域の歴史を学ぶための資料として活用します。	50	社会教育課	その他	維持管理・補助・整備	国の補助金や市の指定制度等を用いて文化財や遺跡の管理を行った。縄文時代の景観復元を目指す、下野谷遺跡の整備に着手した。	A	継続	引き続き実施する。	◎
				51	社会教育課	普及・啓発	郷土資料室で資料の収集、整理、公開を行っている。収蔵資料の管理活用のためのデータベース化を継続して行った。平成30年度収集資料を令和元年度に企画展で公開した。	A	継続	引き続き実施する。	◎	
				52	社会教育課	普及・啓発	天神社を、鎮守の森としてのみどりを含めた歴史的景観として捉える総合調査を、市民調査員も交えて実施した。	A	継続	年度内に報告書を刊行する。	◎	
		②歴史的・文化的環境資源の活用	53	社会教育課	維持管理	下保谷四丁目特別緑地保全地区にて市民団体と共催し白子川の自然と歴史をテーマとしたイベントを開催した。民家・社寺・屋敷林をめぐる文化財散策を実施した。下野谷遺跡にてイベントを2回開催した。	A	変更	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、共催イベント及び下野谷遺跡でのイベントを中止する。			
	3. ごみの削減、資源の有効利用を進めます	9. ごみの減量化	①ごみ減量の取組の推進	54	ごみ減量推進課	普及・啓発	家庭から排出されるごみの減量のための取組を周知します。	A	継続	市の広報媒体を活用し市民への周知を図っていく。		
					55	ごみ減量推進課	その他	検証	令和3年度の計画策定に向け、廃棄物減量等推進審議会にて評価、検証を行った。	A	継続	令和3年度に計画改定を予定しており、その中で取組内容等を検討していく。
				56	ごみ減量推進課	その他	調整・検討	事業系廃棄物の削減に向けた手引きをホームページにて掲載し、周知を図った。	B	継続	処理手数料の見直しについて、関係市と調整のうえ、検討していく。	
57					環境保全課	市民活動支援	社会福祉法人連絡会が行っているフードドライブ事業にエコプラザ西東京として参加し、職員から募集した食品を取りまとめて子ども食堂等の福祉施設に届けた。	A	継続	フードドライブを定期的実施するとともに、市民や事業者に啓発することで参加者を広げていく。	◎	
			ごみ減量推進課	普及・啓発	関係団体が実施したフードドライブに協力するとともに、庁内での市職員のフードドライブを実施した。	A	継続	市主催による市民向けのフードドライブの実施を検討するとともに、市民周知を継続していく。				
58			ごみ減量推進課	普及・啓発	令和元年度は、資源物戸別収集の開始に伴い、事業者へのポスター掲示の協力をお願いした。	C	継続	新型コロナウイルス感染症防止のため積極的な協働作業ができないが、今後の取組方法等を検討していく。				
10. 再使用、再資源化の推進			①再使用の推進	資源の消費を抑制するため、不用品の融通や使い捨て製品の使用をできるだけ抑制するとともに、廃棄するものについてもできるだけ再資源化を推進します。	59	ごみ減量推進課	市民活動支援	市主催でりさいくる市を開催し、リユースの促進に努めた。	A	継続	新型コロナウイルスの感染症予防のため、令和2年度以降は、安全確保可能となるまで事業休止としているが、再開可能となれば引き続き取り組んでいく。	
					60	児童青少年課	普及・啓発	児童館において行事でのマイカップやマイ箸持参で実施した施設があった。	B	継続	児童館において行事でのマイカップやマイ箸持参を推進する。	
	環境保全課	普及・啓発				令和元年度に策定した西東京市第二次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）後期計画（改訂版）の日常業務に関する職員共通の取組として、マイカップ、マイ箸、マイ容器（マイボトル）の利用促進を明記し、職員への普及啓発を行った。	B	継続	引き続き、西東京市第二次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）後期計画（改訂版）に基づき、職員へマイカップ、マイ箸、マイ容器の利用促進を普及啓発する。また、ホームページ等を通じ市民への普及啓発を行う。			
	ごみ減量推進課	普及・啓発				レジ袋削減の一環としてマイバッグの利用促進の周知に取り組んだが、マイカップ等の利用周知は図っていなかった。	D	継続	市の広報媒体を活用して市民周知・啓発を図っていく。			
	61	文化振興課			仕組みづくり	市民まつりにおいて、プラスチック製の容器・ストロー等を可能な限り削減するよう努めた。	A	継続	次回以降の市民まつりでも同様の取り組みを実施予定			
		ごみ減量推進課			市民活動支援	りさいくる市において、市民団体のリユースの場を設けた。令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止からりさいくる市を実施していない。	A	継続	引き続きりさいくる市に合わせて活動できるよう市民団体に協力していく。			
	②再資源化の推進	62	ごみ減量推進課	補助	登録団体に奨励金を交付するとともに、意見交換会を実施し市との情報共有を図った。	A	継続	事務事業評価により抜本的な見直しが必要であるが、事業継続の必要があるため、経費削減を検討する。				
63	ごみ減量推進課	維持管理	可燃ごみの焼却灰をエコセメント化した。	A	継続	エコセメント化施設の更新に向け、今後の施設運営について関係自治体で検討していく。						
64	ごみ減量推進課	その他	検討	小型家電の分別の課題について廃棄物減量等推進審議会にて情報提供を行った。	A	継続	経費負担が問題となるため、予算要求に合わせて今後の分別のあり方を検討していく。					
65	ごみ減量推進課	普及・啓発		令和元年度は、小型電子機器248 tの再資源化を実施した。	A	継続	引き続き、小型電子機器等の再資源化を実施する。					

基本方針	基本施策	施策	No.	「市の取組」	担当課	施策事業進捗状況調査								
						取組手法の分類		令和元年度・2年度上半期の取組状況	評価	今後の予定 継続、変更、 終了	令和2年度下半期以降の取組予定	優先取組 事項または 取組む 予定の事 項		
						取組手法	その他の手法							
11.効率的なごみ処理、 広域処理の推進	効率的なごみ処理を進めるため、市民への意識啓発によるごみ排出ルールの徹底や効率的なごみ収集体制への見直し、広域的な取組の推進を図ります。	①効率的なごみ処理のための情報収集、情報発信	66	ごみ排出ルールの徹底に向けて、市民への啓発を行います。	ごみ減量推進課	普及・啓発		市民に対し、ごみ排出ルールに関する個別の相談や啓発活動を行った。	A	継続	引き続き相談・啓発活動を行っていく。			
			67	ごみの発生抑制や再資源化を促進する方法について調査・検討します。	ごみ減量推進課	その他	調査・検討	パソコンの回収や事業者の協力によるペットボトルの新たな資源化の手法について、調査・検討を行った。	A	継続	新たな資源化手法の実施に向け事業者との調整を図っていく。			
			68	ごみ減量の重要性や減量のための方法等に関する講演会を行います。	ごみ減量推進課	普及・啓発		令和元年度は、資源物戸別収集の説明会を実施したため、その中でごみ減量の重要性を周知した。また、学校等を中心に出前講座により周知を図った。	A	継続	引き続き、市広報媒体や出前講座を活用して周知を図っていく。			
			69	ごみ減量に関する事業者の意識啓発に取り組みます。	ごみ減量推進課	普及・啓発		事業系廃棄物の削減に向けた手引きをホームページにて掲載し、周知を図った。	A	継続	引き続き周知活動を行う。			
		70	収集・運搬車両の台数の見直しや車両の新規導入時の低公害車の利用等を推進します。	ごみ減量推進課	維持管理		毎年度、収集・運搬台数等が適正になるように検討し予算計上している。	A	継続	令和3年度予算要求に向け、効率化を踏まえて体制を検討していく。				
		71	広域的に実施する取組を関係機関等と協力して進めます。	ごみ減量推進課	普及・啓発		廃棄物処理施設における火災防止等について、構成自治体での連携した周知啓発を行った。	A	継続	周知活動を継続していくとともに、令和3年度の計画改定時に課題解決の検討を行う。				
		4.安全・安心で快適な生活環境の確保を進めます	12.大気・水等の環境調査	①大気・水等の環境に関する調査・研究の推進	72	大気や水、騒音、土壌等の現状を継続的にモニタリングします。	環境保全課	維持管理	調査	大気や水の測定データ、騒音測定、土壌等の現状把握を継続的にモニタリング実施した。	A	継続	引き続き、大気や水の測定データ、騒音測定、土壌等の現状把握を継続的にモニタリング実施する。	
					73	国や東京都等で行われているPM2.5等の環境調査の情報を収集し、公表します。	環境保全課	維持管理	調査	国や東京都の補助制度等の情報を市報やホームページ等で提供した。	A	継続	引き続き、国や東京都等で行われているPM2.5等の環境調査の情報を収集し、市報やホームページ等で状況提供する。	
					74	環境の状況に応じて国や東京都と連携して被害防止に向けた対応を行います。	環境保全課	維持管理	調査	環境の状況に応じて国や東京都と連携して被害防止に向けた対応を行った。	A	継続	引き続き、環境の状況に応じて国や東京都と連携して被害防止に向けた対応を行う。	◎
					75	市民との協働を進めるため、市民ボランティアNPO等と連携した環境調査等を行います。	環境保全課	その他	調査	市民団体と協働して、大気中二酸化窒素の濃度測定を実施した。	A	継続	引き続き、市民団体と協働して大気中二酸化窒素の濃度測定を実施する。	
76	市が行っている環境測定の結果を市のホームページや広報等で公表します。	環境保全課	維持管理	調査	最新の大気・水等の環境に関する情報を市報やホームページ等で提供した。	A	継続	引き続き、最新の大気・水等の環境に関する情報を市報やホームページ等で情報提供する。						
13.健康で快適な生活環境の実現	健康で快適な生活環境を実現するため、大気や水質、土壌の汚染防止に努めるとともに、ヒートアイランド現象対策に取り組めます。	①大気・水等の環境の改善	77	自動車利用の抑制、低公害車の普及を促進します。	企画政策課	仕組みづくり		TV会議システムの積極的な活用により、会議出席の際の自動車利用の抑制が図られている。	A	継続	引き続き、TV会議システムの積極的な活用を進めていく。	◎		
					公共施設マネジメント課	維持管理		市内へ外出する際は、自転車の利用を推進し、自動車利用の抑制を図った。	A	継続	引き続き、市内へ外出する際は、公共交通機関や自転車の利用を推進する。	◎		
					秘書広報課	維持管理		自動車利用の抑制、低公害車の普及を促進した。	A	継続	自動車利用の抑制、低公害車の普及を促進する。			
					総務課	整備事業		庁用車の適正化に関する基本方針に基づき、目標台数への取り組みを実施した。	A	継続	下半期にて今年度削減目標台数の達成予定。次年度以降も庁用車の適正化に関する基本方針に基づき取り組む。	◎		
					危機管理課	維持管理		パトロールの際に自転車利用を促進するなど、自動車利用の抑制に努めた。	A	継続	電気自動車（青色回転灯車両）の購入			
					市民税課	計画策定		庁用車の適正化の一環により、市民税課庁用車は総務課に移管した。以後は、必要に応じて共用車を利用している。	A	終了	市民税課庁用車を総務課に移管したため、1月から3月以降の税務署への連絡等は共用車により運行する。無駄のない使用に努める。	◎		
					納税課	仕組みづくり		徒歩や自転車で行ける範囲は極力自動車の利用を抑えた。ガソリン使用量を抑制するためにエコドライブを心掛けるなど省エネにつながる運転をした。	A	継続	引き続き、徒歩や自転車で行ける範囲は極力自動車の利用を抑える。ガソリン使用量を抑制するためにエコドライブを心掛けるなど省エネにつながる運転をする。	◎		
					地域共生課	維持管理		庁舎間や市内の移動の際、公共交通機関や庁舎間バス、自転車の利用に努めた。	A	継続	庁舎間や市内の移動の際、公共交通機関や庁舎間バス、自転車の利用に努める。			
					生活福祉課	仕組みづくり		令和2年度上半期については、新型コロナウイルスの影響により訪問活動の自粛があったため、自動車利用回数が減少した。	B	継続	同乗者の少ないときは、積極的に公共交通機関の利用を促進する。			
					文化振興課	維持管理		近場を移動する際、一人で移動する際等、可能な限り自転車を使用した。	A	継続	同様の取り組みを実施予定			
					環境保全課	維持管理		環境保全課の公用車として新たに電気自動車を導入した。	A	継続	引き続き、自転車の積極的利用等により、自動車利用の抑制に努める。	◎		
					住宅課	普及・啓発		職員・来客者等へ自動車利用の抑制を周知している。	A	継続	継続して取組む。			
					交通課	普及・啓発		市内での各種調査・作業時には、可能な限り自転車を使用した。	A	継続	引き続き、自動車利用の抑制、低公害車の普及促進を図る。			
					建築指導課	維持管理		公用自動車の利用抑制のため、庁舎間連絡バスや公用自転車の利用を積極的に行った。	A	継続	上半期に引き続き、庁舎間連絡バスや公用自転車の利用を積極的に行う。			
					道路建設課	仕組みづくり		庁舎から近い場所への移動では、自動車利用の抑制に努めた。	A	継続	庁舎から近い場所への移動では、自動車利用の抑制に努める。			
					教育企画課	維持管理		課所有の共用車の年間走行距離は平成30年度と比較して令和元年度は6%増となった。	B	継続	徒歩や庁舎間バスでの移動を検討する等、共用車の利用頻度を減らすよう努める。			
					教育支援課	維持管理		当課で車を使用する際にはできるだけ乗り合いを進める等、CO2等の排出が減るように努めた。	A	継続	当課で車を使用する際にはできるだけ乗り合いを進める等、CO2等の排出が減るように努めていく。			
78	公共下水道への接続について、市民や事業者呼びかけます。	下水道課	普及・啓発		ホームページにて普及・啓発活動を実施した。	A	継続	ホームページにて普及・啓発活動を実施する。						
79	公害問題が発生した際には、関係機関との協力等により解決を図ります。	環境保全課	その他	調査	公害問題が発生した際には、東京都との協力及び助言等により、現地に赴き解決を図った。	A	継続	引き続き、東京都との協力及び助言等により、現地に赴き解決に努める。	◎					

基本方針	基本施策	施策	No.	「市の取組」	担当課	施策事業進捗状況調査							優先取組事項または取組む予定の事項
						取組手法の分類		令和元年度・2年度上半期の取組状況	評価	今後の予定 継続、変更、終了	令和2年度下半期以降の取組予定		
						取組手法	その他の手法						
			80	ディーゼル車規制や土壌汚染対策等の環境汚染対策を推進します。	環境保全課	その他	調査	環境の状況に応じて国や東京都と連携して被害防止に向けた対応を行った。	A	継続	引き続き、東京都との協力及び助言等により、現地に赴き解決に努める。		
			81	雨水流出抑制指導や雨水浸透施設設置に対する助成事業を推進します。	下水道課	その他	指導・助成	宅地開発に対する雨水流出抑制指導や、4月から12月の期間、西東京市雨水浸透施設等助成事業実施要綱に基づき雨水浸透施設等助成事業を実施した。	A	継続	宅地開発に対する雨水流出抑制指導や、12月の期間、西東京市雨水浸透施設等助成事業実施要綱に基づき雨水浸透施設等助成事業を実施する。		
		②ヒートアイランド現象への対策			総務課	整備事業		仮庁舎整備事業において、田無第二庁舎屋上において、低木による屋上緑化を行った。また、田無第二庁舎東側壁に壁面緑化を実施した。	A	継続	田無第二庁舎の屋上緑化・壁面緑化の維持管理を行う。	◎	
					障害福祉課	維持管理		障害者総合福祉センターにおいては、4階テラスを屋上緑化している。	A	継続	障害者総合福祉センターにおいて、引き続き屋上緑化を維持する。		
					保育課	維持管理		各保育園において、緑のカーテンによる緑化を実施している。	B	継続	上半期は新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休園等で対応が難しい部分もあったが、今後も、保育の中で緑のカーテン等の緑化を行っていく。		
					児童青少年課	普及・啓発		児童館・学童クラブにてみどりのカーテンを設置した施設があった。	A	継続	児童館・学童クラブにてみどりのカーテンの設置取組をする。		
					文化振興課	維持管理		コール田無屋上防水改修工事の際、改修前と同様に樹木の植え込みを実施した。	A	継続	引き続きコール田無屋上の樹木の管理維持を実施する。		
			82	緑地や農地の保全、公共施設の屋上緑化、学校での緑のカーテンの設置等を通じて、ヒートアイランド現象の緩和を図ります。	スポーツ振興課	維持管理		市内スポーツ施設壁面にゴーヤ等によるグリーンカーテンを実施している。	A	継続	新たに設置可能な施設の検討を行う。		
					産業振興課	維持管理		農業委員会との協力により農地の肥培管理を行った。	A	継続	農業委員会との協力により農地の肥培管理を行う。		
					協働コミュニティ課	維持管理		<消費者センター分館> 3階屋外部分に植栽の維持管理をしている。	A	継続	適切な維持管理を継続する。		
					環境保全課	維持管理		エコプラザ西東京での屋上緑化、リュウキュウアサガオによる壁面緑化の維持管理を行った他、猛暑時に打ち水を行った。	A	継続	引き続き、エコプラザ西東京での屋上・壁面緑化を維持し、打ち水を行うなど、ヒートアイランド現象の緩和に向けた取組を進める。		
					交通課	維持管理		施設敷地内の既存樹木等の維持管理を行った。	A	継続	今後も、引き続き環境に配慮した維持管理を行う。		
					教育企画課	維持管理		学校の建替において、屋上緑化を進める。また、小学校18校、中学校3校において、緑のカーテンを実施した。	A	継続	引き続き、学校の建替において、屋上緑化を進める。また、小学校18校、中学校3校において、緑のカーテンを実施する。	◎	
			83	ヒートアイランド現象の発生状況について、関係機関の測定データや研究成果等を収集します。	環境保全課	その他	調査	ヒートアイランド現象の発生状況について、国や東京都などが公表している測定データや研究成果等を収集した。	A	継続	引き続き、ヒートアイランド現象の発生状況についての最新のデータや研究成果等の収集に努める。		
	14 安全・安心な交通環境の確保	①道路交通の円滑化			都市計画課	その他	要請活動	都が施工する優先整備路線について、東京都に対し、早期事業化を要請した。	A	継続	引き続き早期事業化を要請していく。		
			84	都市計画道路を中心として、幹線道路の整備を進めます。	道路建設課	整備事業		都市計画道路・西3・4・11号線については、令和2年3月10日に事業認可を取得したことから、早期整備向け事業を進めている。	A	継続	引き続き西3・4・11号線の整備を進める。	◎	
		道路交通の円滑化やコミュニティバスなどの公共交通システムの充実、歩行者・自転車の利用環境整備などを通じて、安全・安心な交通環境の確保に取り組みます。			交通課	整備事業		小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市で構成する多摩北部都市広域行政圏協議会において、道路と鉄道の連続立体交差事業に関するパンフレットを更新作成するなど、関係機関へ要請等を行う準備などを行った。	A	継続	引き続き、課題等について情報収集に努めるとともに、多摩北部都市広域行政圏協議会等を通して、連続立体交差化の早期事業化に向けた要請活動など、早期事業化に向けて、東京都や鉄道事業者に要望していく。	◎	
					交通課	整備事業		道路管理者や交通管理者等と連携し、必要に応じて様々な対策を行った。	A	継続	引き続き、関係機関と連携し、有効な対策を検討する。		
			86	幹線道路の交差点等の交通渋滞の多発する地点では、関係機関と連携し、有効な対策を検討します。	道路管理課	計画策定		都市計画道路と幹線道路の交差点において、交通渋滞対策について関係機関と協議した。	C	継続	引き続き適切に対応する。		
		②公共交通システムの充実			交通課	計画策定		第4次行財政改革大綱アクションプランに基づき、収支率及び乗車回数改善に向けて、地域公共交通会議における検討を進め、令和元年度には正月臨時ダイヤを実施するなどの取組を行った。	A	継続	引き続き、第4次行財政改革大綱アクションプランに基づき、収支率及び乗車回数改善に向けて、地域公共交通会議における検討を進め、土休日ダイヤを含むダイヤ改正や停留所の新設などを行うとともに、利便性の向上等の利用促進策を検討・実施することで将来にわたり持続可能な運行を目指していく。	◎	
					交通課	普及・啓発		「西東京市交通計画」において、バス交通の利便性の向上を目的とした施策として位置づけている「公共交通マップ」の作成等について検討を進めた。	A	継続	令和2年度下半期には、民間事業者との協働事業として、はなバスの情報に加え、市内の民間路線バスや鉄道駅の時刻表等の情報を網羅した公共交通ブックを作成し、公共交通機関の更なる利用促進を図る。		
		③歩行者・自転車の利用環境の整備			道路建設課	整備事業		令和元年度は、市道104号線（約210m）について歩車道幅員の再配分の検討を行った。	A	継続	令和2年度以降も引き続き、検討を行う。		
					交通課	整備事業		道路管理課や田無警察署と連携しながら、注意喚起の看板を設置したりすることで、誰もが歩きやすく、自転車を利用しやすい環境の整備を行った。	A	継続	引き続き、誰もが歩きやすく、自転車を利用しやすい環境づくりを行う。		
			90	歩きやすく、自転車を利用しやすい環境の整備を行います。	道路管理課	整備事業		路側線の整備、車止めの設置などを実施した。	B	継続	引き続き適切に対応する。		
					道路建設課	整備事業		令和元年度は、市道118号線（約183m）で、歩道の新設を含めた改良工事を行った。	A	継続	令和2年度は、市道224号線（約250m）の道路改良を行い、自転車走行空間の創出を行い、歩道での自転車走行の抑制を図る。		
					道路管理課	計画策定		東京都苗木生産供給事業を活用し、植栽帯の緑化を進めた。	A	継続	引き続き東京都苗木生産供給事業を活用していく。		
			91	ゆとりある歩道や植栽帯の確保等の環境配慮を東京都や近隣自治体等と連携しながら進めます。	道路建設課	整備事業		令和元年度は、市道104号線について歩車道幅員の再配分の検討の中で、植栽帯の確保についても検討を行った。	A	継続	令和2年度以降も引き続き、検討を行う。		

基本方針	基本施策	施策	No.	「市の取組」	担当課	施策事業進捗状況調査						優先取組事項または取組む予定の事項		
						取組手法の分類		令和元年度・2年度上半期の取組状況	評価	今後の予定 継続、変更、終了	令和2年度下半期以降の取組予定			
						取組手法	その他の手法							
15.美しく安全・安心なまちの形成 美しい景観の形成やまちの美化活動、バリアフリー化など誰もが活動しやすい環境の整備を進めることで、安全・安心なまちづくりに取り組みます。 ②市内美化の推進 ③誰もが利用しやすいまちづくり		①美しい景観の形成 ②市内美化の推進 ③誰もが利用しやすいまちづくり	92	ユニバーサルデザインの観点からの整備や歩車道の段差解消、電線類の地中化を関係機関と連携しながら進めます。	都市計画課	整備事業		土地区画整理事業等の実施に向けた相談の際は、電線類の地中化に向けて道路管理課など関係機関と連携を進めた。	A	継続	引き続き土地区画整理事業等については、電線類の地中化を進め、関係機関と協議を進めていく。			
					道路管理課	計画策定		道路の移動円滑化ガイドライン及び無電柱化の推進に関する法律に基づき、事業者に対し適切に指導した。	B	継続	引き続き適切に対応する。			
					道路建設課	整備事業		歩行者の利用環境の向上に繋がる、無電柱化の優先検討路線に対して、事前調査を実施した。	A	継続	令和2年度は市道220号線（約395m）に対して予備設計を行い、今後は無電柱化へ向け事業を継続していく。			
					道路管理課	維持管理		安全な交通を確保するため、交通危険箇所を把握するとともに、危険箇所の局所改修や、カーブミラー等の道路安全施設の整備を実施した。	A	継続	引き続き適切に対応する。			
				94	屋外広告物、看板について、周囲景観と調和するよう適正な許可を行います。	道路管理課	その他	東京都条例に基づき		東京都景観条例に基づき適正な許可を行った。 令和元年度（市許可分：90件、都許可分（市経由）：92件）	A	継続	引き続き適正な許可を行う。	
						みどり公園課	計画策定		平成31年1月に策定した「下保谷四丁目特別緑地保全地区保全活用方針」を踏まえ、保全活用に向けた実証実験、価値の評価を実施した。	A	継続	平成31年1月に策定した「下保谷四丁目特別緑地保全地区保全活用方針」を踏まえ、今後「下保谷四丁目特別緑地保全地区保全活用計画」を策定する。		
						社会教育課	補助		市・都・国の文化財制度を活用し管理謝金を支払うなど歴史的景観の保全に努めた。	A	継続	引き続き実施する。		
				96	市民の美化活動を支援します。	ごみ減量推進課	市民活動支援			年2回（市主催、高齢者クラブ主催）による市内一斉清掃活動を実施した。	A	継続	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防のために開催や協力を控えたが、実施可能であれば継続していく。	
						ごみ減量推進課	市民活動支援			市内各駅で地域住民とキャンペーンを実施し、委託による清掃活動を通じてマナー向上を図った。	A	継続	新型コロナウイルス感染症予防のためにキャンペーンは休止しているが、活動可能であれば継続していく。	
						ごみ減量推進課	普及・啓発			市の広報媒体による周知や個別の現地指導により周知を図った。	A	継続	今後も個別案件に丁寧に対応し、周知啓発を図っていく。	
				99	バリアフリーな空間整備やユニバーサルデザインの導入を進めます。	危機管理課	整備事業			避難所看板にピクトグラム表記導入を進めた。	A	継続	引き続き、避難所看板へのピクトグラム表記導入を進める。	
						都市計画課	普及・啓発			東京都福祉のまちづくり条例に基づき、ユニバーサルデザインを基本とした福祉のまちづくりを進めるよう、指導した。	A	継続	引き続き東京都福祉のまちづくり条例に基づき、指導していく。	
						道路建設課	整備事業			事業中の田無駅南口駅前広場の整備については、バリアフリーな空間整備やユニバーサルデザインの導入検討を行った。	A	継続	今後も引き続き、導入への検討を行う。	◎
				100	都市基盤の計画的な更新や長寿命化対策について検討します。	教育企画課	維持管理			小学校2校にだれでもトイレを整備した。	A	継続	学校の建替において、バリアフリー化、だれもがわかりやすい案内表示等のユニバーサルデザインの導入を進める。	◎
						道路管理課	計画策定			道路舗装などの補修を実施した。	A	継続	引き続き適切に対応する。	◎
	道路建設課	整備事業					日常業務を通じて市道の損傷状況を確認し、計画的な道路改良を通じて安全・安心なまちの形成を進めた。	A	継続	今後も引き続き計画的な整備を実施する。				
	103	環境情報を幅広く市民に提供するイベントや講座を開催します。	下水道課	維持管理			下水道ストックマネジメント計画実施方針に基づき、下水道管きよ等の点検調査を実施した。	A	継続	下水道ストックマネジメント計画実施方針に基づき、下水道管きよ等の点検調査を実施する。				
			児童青少年課	普及・啓発			児童館において講師や地域の方を招いて自然環境について学ぶ行事を実施した。また、地域の方の協力で児童と花壇づくりを実施した。	A	継続	児童館の行事でリサイクル工作やマイカップ持参などを実施し、市民への啓発を実施する。				
			協働コミュニティ課	普及・啓発			消費者啓発事業（環境へ配慮した消費行動の啓発：石けん工場見学）	A	継続	市民協働推進センター事業（SDGs啓発講座） 対象：市民活動団体 内容：SDGsが示す各目標の解説、市民活動における目標の捉え方についての講義。				
	104	環境教育・環境学習の推進や環境保全活動を支援するための拠点として、エコプラザ西東京の充実を図ります。	環境保全課	普及・啓発			環境フェスティバルやエコプラザ西東京での各種環境講座を開催した。	A	継続	11月にアスタセンターコートでの環境フェスティバルを開催する他、エコプラザ西東京での環境講座を開催する。	◎			
			公民館	普及・啓発			講座、まつり、懇談会等から環境、SDGs達成に向けた取り組みを紹介した。	A	継続	引き続き公民館活動を通じ、各個人、家庭においても省エネ、リサイクル、廃棄物の削減等の意識を高めて行く。	◎			
			環境保全課	市民活動支援			エコプラザ西東京が主催する環境講座の充実にも努めた他、エコプラザ西東京の講座室の利用条件を緩和し、より多くの団体がエコプラザ西東京を利用できるようにした。	A	継続	引き続きエコプラザ西東京が主催する環境講座の充実にも努める他、環境学習コーナーの展示を充実させるなど、利用者の環境保全活動を支援する拠点としての機能を高める。	◎			
5. 持続可能な社会の実現に向けた環境意識の醸成・協働の仕組みづくりを進めます	16. 環境情報の発信・共有	①環境情報の発信 市が主体となって、イベントや講座などを通じて市民に環境関連情報を発信するとともに、事例公表などを通じて市民等が持つ情報の共有に取り組めます。また、森林環境譲与税の活用方法について検討を行い、その活用結果を公表します。	101	市を取り巻く環境の状況や森林環境譲与税の使途を公表します。	財政課	仕組みづくり		令和元年度「決算の概要」内で、森林環境譲与税の使途について掲載した。	A	継続	令和2年度以降も引き続き公表を行うとともに、公表方法の拡大を検討する。			
					環境保全課	普及・啓発			「平成30年度 環境白書・環境活動レポート」を作成し、市を取り巻く環境の状況を公表した。	A	継続	引き続き、「令和元年度 環境白書・環境活動レポート」を作成・公表する。		
			102	国や東京都の支援等の情報を提供します。	環境保全課	普及・啓発			国や東京都の補助制度等の情報を市報やホームページ等で提供した。	A	継続	引き続き、国や東京都の補助制度等の情報を注視し、最新情報を市報やホームページ等で提供する。	◎	
	②環境情報の共有	市民からの情報を受信し双方向の情報共有を目指します。	103	環境情報を幅広く市民に提供するイベントや講座を開催します。	児童青少年課	普及・啓発		児童館において講師や地域の方を招いて自然環境について学ぶ行事を実施した。また、地域の方の協力で児童と花壇づくりを実施した。	A	継続	児童館の行事でリサイクル工作やマイカップ持参などを実施し、市民への啓発を実施する。			
			協働コミュニティ課	普及・啓発			消費者啓発事業（環境へ配慮した消費行動の啓発：石けん工場見学）	A	継続	市民協働推進センター事業（SDGs啓発講座） 対象：市民活動団体 内容：SDGsが示す各目標の解説、市民活動における目標の捉え方についての講義。				
			環境保全課	普及・啓発			環境フェスティバルやエコプラザ西東京での各種環境講座を開催した。	A	継続	11月にアスタセンターコートでの環境フェスティバルを開催する他、エコプラザ西東京での環境講座を開催する。	◎			
	106	地域の環境教育・環境学習、環境保全活動の事例を公表します。	105	市民からの情報を受信し双方向の情報共有を目指します。	環境保全課	仕組みづくり		エコプラザ西東京の登録団体との懇談会を実施し、市民団体との情報共有を行った。	B	継続	引き続きエコプラザ西東京の登録団体との情報共有を行う他、他の市民との情報共有の機会を増やす。			
			環境保全課	普及・啓発			市民団体がやっている石神井川の清掃活動について、パネル展示等の公表を行った。	B	継続	引き続き、地域で行われている環境教育・環境学習・環境保全活動等の現場に出向き、活動の様子をホームページ等により公表する。				
			環境保全課	仕組みづくり			エコプラザ西東京の講座室等の利用を一般団体にも広げ、エコプラザ西東京の市民活動の拠点としての機能を高めた他、リユース掲示板等の環境情報の集約に努めた。	B	継続	リユース掲示板等の環境情報をより利用しやすく集約したり、エコプラザ西東京の利便性を更に高めるなど、市民活動の拠点づくりに努める。				

基本方針	基本施策	施策	No.	「市の取組」	担当課	施策事業進捗状況調査								
						取組手法の分類		令和元年度・2年度上半期の取組状況	評価	今後の予定 継続、変更、 終了	令和2年度下半期以降の取組予定	優先取組 事項または取組む 予定の事項		
						取組手法	その他の手法							
17 環境学習の推進 子どもや市民、事業者を 対象として、様々な取組 を通じて環境教育・環境 学習の機会の充実を図 るとともに、持続可能な 開発の実現に向けた啓 発を行います。	①子どもたちに対する 環境教育・環境学 習の充実	環境教育・環境学習の内容や教材の充実に努めます。	108	子育て支援課	その他	情報提供	幼稚園における環境学習や利用教材について関係機関から周知依頼や通知があった場合に、各幼稚園に情報提供を行った。	A	継続	幼稚園における環境学習や利用教材について関係機関から周知依頼や通知があった場合は、各幼稚園に情報提供していく。				
					保育課	普及・啓発	保育園において、ごみ減量推進課の出前講座「ごみのゆくえ教室」を実施することや、環境に関する絵本の活用、古紙の再利用など、身近な保育活動の中で環境学習に努めている。	A	継続	エコに関する活動は、乳幼児には難しく、十分に理解しきれない面もあるが、身近な活動をとおして伝えていく。また、子どもの活動をとおして、家庭への啓発を行っていく。				
					児童青少年課	普及・啓発	児童館において講師や地域の方を招いて自然環境について学ぶ行事を実施した。また、みどりのカーテンの設置を通し、児童に環境について学ぶ機会を設けた。また、児童館・学童クラブでは令和2年度の夏期において打ち水を実施する施設があった。	A	継続	児童館において、講師や地域の方を招き、自然環境について学ぶ行事を実施する。また、みどりのカーテンの設置を通し、児童と環境について学ぶ機会を設ける。				
					環境保全課	普及・啓発	小学生の環境学習の副教材として「西東京市の環境 2020年」を作成し、全市立小学校4年生に配布した。	A	継続	引き続き、最新の環境に関する話題を盛り込んだ「西東京市の環境 2021年」を作成し、新4年生に配布する。	◎			
					教育企画課	仕組みづくり	「特色ある学校推進事業」として令和元年度に環境問題に関する授業を行った学校があった。授業に使用する図書の予算配当を行った。	A	継続	今後も学校の希望に合わせて、予算の配当を行っていく。	◎			
					図書館	普及・啓発	図書館全館で環境意識・環境問題等の資料収集を積極的に行い、市民の調査・研究に役立てた。また関係資料を適宜展示して環境意識の醸成を進め、市民への情報提供に努めた。	A	継続	継続する。				
			109	教育機関との連携を図りながら、学校教育における環境に関する取組を充実します。	環境保全課	危機管理課	普及・啓発	学校給食に対してアルファ化米を提供し、防災教育と同時に食品ロス削減の普及啓発を実施した。	A	継続	学校給食へのアルファ化米の提供を継続する。			
						環境保全課	普及・啓発	市立小学校5年生を対象に、夏休みの宿題として「環境家計簿」を実施し、児童に日常生活で削減できる二酸化炭素排出量を算出してもらい、地球温暖化対策への意識啓発に繋げた。	A	継続	引き続き、環境家計簿などの取組みを実施する他、環境保全課の職員が小学校の総合学習の授業等に訪問し、児童に地球温暖化や生物多様性などの環境に関する啓発を行う機会を設ける。	◎		
						教育企画課	仕組みづくり	東京大学との連携事業として環境を考える事業を計画し、市立小学校の児童が参加した。	A	継続	大学等と連携し児童が環境について学ぶ機会を作るように検討する。	◎		
						教育指導課	普及・啓発	碧山小学校でSDGsを校内研究で取り上げた。様々な教科を通して、持続可能な社会の実現について学びを深めた。	A	継続	SDGsの目標や考え方に基づいた授業や活動を行う。	◎		
			110	持続可能な開発の実現に向けた取組の必要性や具体的な取組について学ぶ機会を設け、子どもたちの意識啓発に努めます。	児童青少年課	企画政策課	普及・啓発	・毎年度テーマは異なるが、多摩北部都市広域行政圏協議会において、圏域の子どもたちを対象に「子ども体験塾」を開催 令和元年度：たまるく自然と都会のサバイバル 令和2年度：新型コロナウイルス感染症に伴い中止 ・多摩六都科学館において、科学の視点で自分を取り巻く世界を学ぶ体験型の展示を常設。また、学校の課外活動による学習利用の他、子どもから大人を対象とした季節ごとの企画展や、月替わりの催し物などを実施	B	継続	子ども体験塾については、令和3年度事業実施に向けて構成市と調整を進めていく。 多摩六都科学館については、引き続き企画展や催し物を通じた環境教育・学習機会の充実を図っていく。	◎		
						環境保全課	普及・啓発	児童館において自然環境について学ぶ行事を実施した。また、みどりのカーテンの設置やリサイクル工作、行事でのマイカップ持参等を通し、児童に環境について学ぶ機会を設けた。また、児童館・学童クラブでは令和2年度の夏期において打ち水を実施する施設があった。	A	継続	児童館において自然環境について学ぶ行事を実施する。また、みどりのカーテンの設置やリサイクル工作、行事でのマイカップ持参等を通し、児童に環境について学ぶ機会を設ける。			
						環境保全課	普及・啓発	環境フェスティバルでのパネル展示やホームページ等でSDGsについて紹介した他、アスタセンターコートにおいてSDGs双六やSDGs講演会を実施した。	A	継続	引き続き、環境フェスティバル等のイベントの開催や各学校での啓発活動、ホームページ等を通じ、SDGsに関する普及啓発を行う。	◎		
						教育指導課	普及・啓発	碧山小学校でSDGsを校内研究で取り上げた。様々な教科を通して、持続可能な社会の実現について学びを深めた。	A	継続	SDGsの目標や考え方に基づいた授業や活動を行う。	◎		
			111	環境にやさしい行動の実践を促す環境教育・環境学習の機会の創出に努めます。	協働コミュニティ課	環境保全課	普及・啓発	消費者啓発事業（環境へ配慮した消費行動の啓発：石けん工場見学）	A	継続	市民協働推進センター事業（SDGs啓発講座） 対象：市民活動団体 内容：SDGsが示す各目標の解説、市民活動における目標の捉え方についての講義。			
						環境保全課	普及・啓発	エコプラザ西東京において、エシカル消費講座など、環境にやさしい行動の実践を促す環境講座を実施した。	A	継続	引き続き、エコプラザ西東京において環境にやさしい行動の実践を促す環境講座を実施する。			
						社会教育課	普及・啓発	民家・社寺・屋敷林をめぐる文化財散策を実施した。下野谷遺跡のイベントや郷土資料室の展示を通し自然の中で暮らしした縄文人の生活や、少し昔の生活を紹介した。	A	継続	郷土資料室の展示や講演会を通し縄文時代の暮らしや少し昔の暮らしを紹介する。			
						図書館	普及・啓発	図書館全館で環境意識・環境問題等の資料収集を積極的に行い、市民の調査・研究に役立てた。また関係資料を適宜展示して環境意識の醸成を進め、市民への情報提供に努めた。	A	継続	継続する。			
					112	環境教育・環境学習の内容の充実に努めます。	協働コミュニティ課	環境保全課	普及・啓発	消費者啓発事業（環境へ配慮した消費行動の啓発：石けん工場見学）	A	継続	市民協働推進センター事業（SDGs啓発講座） 対象：市民活動団体 内容：SDGsが示す各目標の解説、市民活動における目標の捉え方についての講義。	
								環境保全課	普及・啓発	エコプラザ西東京において、環境講座を39講座実施した。	A	継続	引き続き、エコプラザ西東京における環境講座の内容の充実に努める。	
								社会教育課	普及・啓発	民家・社寺・屋敷林をめぐる文化財散策を実施した。小中学生に対し、下野谷遺跡のイベント、郷土資料室の団体見学や学校への出前授業を通し、環境と人々の暮らしについての興味を促した。	A	継続	引き続き実施する。	◎
					113	持続可能な開発の実現に向けた取組の必要性や具体的な取組について学ぶ機会を設け、市民の意識啓発に努めます。	協働コミュニティ課	図書館	普及・啓発	図書館全館で環境意識・環境問題等の資料収集を積極的に行い、市民の調査・研究に役立てた。また関係資料を適宜展示して環境意識の醸成を進め、市民への情報提供に努めた。	A	継続	継続する。	
								企画政策課	普及・啓発	多摩六都科学館において、科学の視点で自分を取り巻く世界を学ぶ体験型の展示を常設。また、子どもから大人を対象とした季節ごとの企画展や、月替わりの催し物などを実施した。	A	継続	引き続き企画展や催し物を通じた環境教育・学習機会の充実を図っていく。	
								環境保全課	普及・啓発	環境フェスティバルでのパネル展示やホームページ等でSDGsについて紹介した他、アスタセンターコートにおいてSDGs双六やSDGs講演会を実施した。	A	継続	引き続き、環境フェスティバル等のイベントの開催やホームページ等を通じ、SDGsに関する普及啓発を行う。	◎

基本方針	基本施策	施策	No.	「市の取組」	担当課	施策事業進捗状況調査						
						取組手法の分類		令和元年度・2年度上半期の取組状況	評価	今後の予定 継続、変更、 終了	令和2年度下半期以降の取組予定	優先取組 事項または取組む 予定の事項
						取組手法	その他の手法					
		③事業者に対する環境教育・環境学習の充実	114	環境保全に役立つ情報を提供します。	環境保全課	普及・啓発		農業の正しい使用方法等のチラシを市内園芸業者に送付するなど、環境保全に役立つ情報を提供した。	B	継続	引き続き、事業者に対して環境保全に役立つ情報を提供する。	
			115	持続可能な開発の実現に向けた取組の必要性や具体的な取組について情報提供し、事業者の啓発に努めます。	職員課 環境保全課	普及・啓発 普及・啓発		①5月から10月(令和元・2年度)までクールビズ、12月から翌3月(令和元年度)までウォームビズの実施。 ②20時一斉退庁の実施。 ③ノー残業デーの実施。 環境フェスティバルでのパネル展示やホームページ等でSDGsについて紹介した他、アスタセンターコートにおいてSDGs双六やSDGs講演会を実施した。	A A	継続 継続	①12月から翌3月にウォームビズを実施する。 ②・③についても引き続き実施する。 引き続き、環境フェスティバル等のイベントの開催やホームページ等を通じ、SDGsに関する普及啓発を行う。	◎ ◎
18.環境保全活動の促進 環境保全活動を促進するため、市民の意識啓発に取り組むとともに、環境保全団体の活動に対する支援や人材育成・活用を進めます。	①環境保全活動への参加機会の創出		116	環境保全活動への市民参加意識を高める啓発を進めます。	職員課	普及・啓発		クールビズ、ウォームビズ実施期間中に、取組内容を記載したポスターを窓口に掲示した。	A	継続	12月から翌3月にウォームビズを実施する。	
					環境保全課	普及・啓発		ボランティア団体が行っている石神井川の定期清掃活動に保谷高校の生徒と参加し、パネル展示等で清掃活動への参加の呼びかけを行った。	B	継続	引き続き、石神井川の定期清掃を始め、ボランティア団体が行っている環境保全活動への参加を市民に周知するなど、市民参加意識を高める啓発を行う。	
					企画政策課	普及・啓発		多摩北部都市広域行政圏協議会の広域連携プランに基づき、「水と緑のネットワークが形成された多摩六都」や「地球にやさしい循環型・低炭素の多摩六都」の実現に向けた取組を実施 ・水と緑ウォッチングウォーク参加者 令和元年度：62人 令和2年度：中止	B	継続	令和3年度事業実施に向けて構成市と調整を進めていく。	◎
					児童青少年課	普及・啓発		児童館において自然環境について学ぶ行事を実施した。また、みどりのカーテンの設置やリサイクル工作、行事でのマイカップ持参等を通じ、児童に環境について学ぶ機会を設けた。また、児童館・学童クラブでは令和2年度の夏期において打ち水を実施する施設があった。	A	継続	児童館において自然環境について学ぶ行事を実施する。また、みどりのカーテンの設置やリサイクル工作、行事でのマイカップ持参等を通じ、児童に環境について学ぶ機会を設ける。	
					環境保全課	普及・啓発		エコプラザ西東京の主催講座において、親子で参加できる講座を充実させるなど、子どもから大人までが参加可能な環境保全活動の機会の充実を図った。	B	継続	引き続き、親子参加型の環境学習講座を充実する他、市民団体との連携等により、どの世代でも参加可能な環境保全活動の機会の充実を目指す。	
					協働コミュニティ課	市民活動支援		①市民協働推進センター利用団体としての登録受付(「環境」分野) ②NPO市民フェスティバルへの参加受付	A	継続	現在の取組を継続していく。	
	②環境保全活動への支援	118	市民団体による環境保全活動の実態を把握し、その活動を支援します。	環境保全課	仕組みづくり		エコプラザ西東京の登録団体との会合を行い、市民団体による環境保全活動の実態を把握し、団体の活動に関する情報発信などの支援を行った。	B	継続	引き続き、エコプラザ西東京の登録団体との会合を継続するとともに、その他の市民団体による環境保全活動の実態把握や支援の在り方を調査・研究する。		
				職員課	普及・啓発		令和元年度の新規採用職員入庁研修において環境マネジメントシステムの研修を実施した(令和2年度上半期は新型コロナウイルス感染症の影響で未実施)。	A	継続	新型コロナウイルス感染症の影響で未定		
				環境保全課	普及・啓発		エコプラザ西東京の登録団体にエコプラザ西東京主催講座の講師を依頼し、講座参加者に対し環境学習や環境保全活動の指導を行う人材の育成に取り組んだ。	B	継続	引き続き、様々な分野でのエコプラザ西東京主催講座の講師を積極的に募集し、講座参加者への環境学習や環境保全活動の指導を行える人材の育成に取り組む。		
				環境保全課	仕組みづくり		環境に関する専門家や、環境教育・環境学習の指導ができる市民や団体等の情報を整理し、適任者にエコプラザ西東京で主催する講座の講師を依頼した。	A	継続	引き続き、エコプラザ西東京で主催する講座に関し、市民や団体等から適任者を探し、講師を依頼することで、講座の充実を図る。		
				環境保全課	普及・啓発		ホームページ等でエコプラザ西東京で主催した講座のレポートを掲載したり、主催講座の野鳥観察会の成果を「野鳥観察の手引き」として発行するなど、環境保全に関する活動内容を周知した。	A	継続	引き続き、ホームページ等を通じて様々な環境保全に関する活動状況の周知を行う。	◎	
				児童青少年課	普及・啓発		児童館において講師や地域の方を招いて自然環境について学ぶ行事を実施した。また、地域の方の協力で児童と花壇づくりを実施した。	A	継続	児童館において講師や地域の方を招いて自然環境について学ぶ行事を実施する。また、地域の方の協力で児童と花壇づくりを実施する。		
④環境保全活動等を担う人材の活用	120	環境に関する専門家や、環境教育・環境学習の指導ができる市民や団体等の情報を整理し、その活用を図ります。	環境保全課	仕組みづくり		環境に関する専門家や、環境教育・環境学習の指導ができる市民や団体等の情報を整理し、適任者にエコプラザ西東京で主催する講座の講師を依頼した。	A	継続	引き続き、エコプラザ西東京で主催する講座に関し、市民や団体等から適任者を探し、講師を依頼することで、講座の充実を図る。			
			環境保全課	普及・啓発		ホームページ等でエコプラザ西東京で主催した講座のレポートを掲載したり、主催講座の野鳥観察会の成果を「野鳥観察の手引き」として発行するなど、環境保全に関する活動内容を周知した。	A	継続	引き続き、ホームページ等を通じて様々な環境保全に関する活動状況の周知を行う。	◎		
			児童青少年課	普及・啓発		児童館において講師や地域の方を招いて自然環境について学ぶ行事を実施した。また、地域の方の協力で児童と花壇づくりを実施した。	A	継続	児童館において講師や地域の方を招いて自然環境について学ぶ行事を実施する。また、地域の方の協力で児童と花壇づくりを実施する。			
			環境保全課	普及・啓発		環境分野に関する人材との交流を積極的にを行い、主催講座・講演会の講師やイベントへの参加等を依頼した。	A	継続	引き続き、環境分野に関する人材との交流を積極的にを行い、環境保全活動等推進員として連携するなど、環境分野に関する人材が活躍できる場の充実を図る。			
19.市民・事業者・市の協働体制の構築 市民・事業者・市の協働体制を推進するとともに、国や東京都等との広域的な連携に取り組めます。	①市民・事業者・市の協働の仕組みづくり	123	市民・事業者・市の協働事業等を検討します。	企画政策課	仕組みづくり		民間事業者と連携した取組や包括連携協定の締結等に向けて調整を行った。	A	継続	引き続き、民間事業者と連携した取組や包括連携協定の締結等に向けて調整を進めていく。	◎	
				協働コミュニティ課	市民活動支援	補助	①市民協働推進センター運営 ②地域協力ネットワーク設立・運営支援	A	継続	①市民協働推進センター運営 ②地域協力ネットワーク設立・運営支援		
				環境保全課	仕組みづくり		市民団体と覚書を交わし、エコプラザ西東京で絶滅危惧種のムラサキソウの栽培を行う協働事業を開始した。	A	継続	引き続きムラサキソウの協働事業を進める他、他の分野でも市民や事業者との協働事業の可能性について検討する。	◎	
				環境保全課	仕組みづくり		環境学習・情報ネットワークの整備の在り方について検討を行った。	B	継続	引き続き、検討を進める。		
	②広域的な連携の推進	125	広域的に対応すべき課題について、国・東京都及び関連自治体と連携して取り組みます。	企画政策課	計画策定		多摩北部都市広域行政圏協議会において次期広域連携プランの策定に向け構成市において調整を進めている。	A	継続	引き続き、次期広域連携プランの策定に向け構成市において調整を進める。	◎	
				環境保全課	その他	広域連携	国や都が主催する研修等に参加したり、関連自治体と広域的に対応する課題について意見交換やアンケート調査等で情報共有を行うなど、広域的な連携を進めた。	A	継続	引き続き、広域的に対応すべき課題については国や都、関連自治体と情報共有を行うなど、国や都、関連自治体と連携して対応する。		
				環境保全課	その他	広域連携	東京都市・公害事務連絡協議会の各種会議、石神井川や玉川上水の流域自治体の会議等へ参加した。	A	継続	広域的な自治体の連携を更に深めるため、有益な会議への積極的な参加を検討する。		